

Q&A

一般質問

市政のそこが聞きたい!

9月定例議会の一般質問は、14名の議員が35項目について行いました。

◆鬼久保二郎 議員

- 自然災害時の給水対応は
- 市内小・中学校の現状について

◆細井 公 議員

- 商店街等の夏祭りにおける学生・生徒の熱中症対策について
- 市内公園の除草等の対策について

◆黒須大一郎 議員

- 選書基準等は、明確化されているのか
- 行財政改革推進大綱について
- 白岡中学校周辺の土地利用について

◆渡辺聡一郎 議員

- シティブロモーションの効果検証について
- 地域創造・地方創生の今後の展開について

◆大倉秀夫 議員

- 公用車等ヘドドライブレコーダーの設置を
- 高齢者の交通安全対策について

◆斎藤信治 議員

- 中学校の部活動について
- 困難を抱える子どもたちが、楽しくなるために

◆松本栄一 議員

- 新元号への対応について
- 所有者不明土地への対応について

◆高木隆三 議員

- 高齢者の多剤服用及び残薬削減で、医療費削減を
- 猛暑、豪雨など異常気象対策について

◆遠藤 誠 議員

- 下校の見守りはどのくらい行われているのか
- 「自助」「自治」の再確認
- 農業者を商工会に
- 白岡中学校周辺の開発
- 農業、農地への市の取組

◆関口昌男 議員

- 人事院勧告と市役所に働く労働者の給与改善について
- 教育を巡る諸課題について
- 白岡市のイメージアップ作戦について

◆江原浩之 議員

- オータムフェス開催について
- 聖火リレーの招致について

◆菱沼あゆ美 議員

- 防災の更なる取組を
- 健康寿命を延伸するフレイル予防の推進について
- SDGsを踏まえたESDについて

◆井上日出巴 議員

- 保育・幼児教育の無償化について
- 勤労者体育センターの暑さ対策について

◆石原富子 議員

- 市内循環バス等の復活について
- 救急医療情報キットの更なる活用について
- 増え続ける空き家の利活用について

※1人につき2項目までを要約して掲載しています。

問 自然災害時の給水対応は

日本は、毎年地震や台風、豪雨など想定外の自然災害が発生し、国民が苦しみ、悲しみ、生命財産を失うなど大変な事態が発生する。災害時に大切な電気とともに、給水は大変重要である。県や国などが整備を促進している耐震性貯水槽を市は設置の考えはないか。

答 臨時の給水所を設置し対応する

災害により通常の給水が困難となった場合に備え、耐震性貯水槽に代わる仮設貯水槽を備蓄している。緊急時に避難所などで応急給水に対応し、飲料水としてペットボトル水を備蓄している。

また、各家庭での飲料水や防災用品の備蓄を啓発していく。



鬼久保二郎議員
(市民クラブ)

問 菁莪中学校の学区変更の考えはないか

現在市内には4つの中学校があるが、5月1日現在、篠津中438名、菁莪中123名、南中352名、白岡中343名である。菁莪中は他3校と比べ、3分の1の生徒数である。今後、地域で定住人口の増加が見込まれない中、教育的観点から学区変更の必要があるのでは。

答 住民意見を聴きながら慎重に対処する

学校は、地域と深く結びついており、地域のかたがたから支えられ、親しまれてきた存在である。菁莪中学校の学区変更については、地域住民の意見を聴きながら十分慎重に対処する必要があり、現時点では見直しを行う時期にはないものと考えている。

